

発行日 令和2年3月25日

日体大学

神奈川県

保護者会会報

タイトルロゴ 蒔谷 蘆 聖

2020



新時代「令和」 未来へ繋ぐ



神奈川県保護者会の皆様へ

自主性を尊重する



日本体育大学理事長
松浪 健四郎

「人間万事塞翁が馬」と正月に書いた。気に入った教えなので年賀状にもしたためた。思いがけないことが幸福を招いたり、不幸につながったりして、だれもが人生の予測などつかない。だから、やたらと喜んだり悲しんだりしてはじまらない、という戒めであろう。

私は日体大に1965年に入学した。当時、まさかその母校の最高責任者に就任するなんて考えたこともなかった。ましてや、高校教員、大学教授等を外の学校で経験した者にとって、母校とは無関係になりがちであるのが一般的。だが、2011年6月から46年ぶりに母校に舞い戻ることとなった。まさに「人間万事塞翁が馬」を実感した。

若い学生諸君にしても、一人一人の人生を予測するのは困難である。しかし、いつも無欲で正直で熱心で明るい性格を持つ人間性であるならば、まちがいをなく幸福を手中にするだろうし、世に出ると私は思う。もう一つ、常に相手の立場に立てる人であって欲しい。

以上は私の体験からくる人生訓である。昨年末、自叙伝を出版したが、それは一人のアスリートが志を持って挑戦して行く物語であった。たった一度の人生、思うがままに、たとえ冒険であろうとも挑戦して欲しいと学生たちに望む。家族や親は、ブレーキをかけるのではなく、応援団員に徹して温かく見守っていただきたいと願う。

新しい時代に突入していて、何もかも変化している。若者でしか理解できない社会が横たわっているのだから。



神奈川県保護者会会長
小泉 光正

神奈川県保護者の皆様におかれては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本県保護者会の活動に対して、深いご理解と多くのご協力を賜りましてありがとうございます。時代も平成から令和へと移行され、現在日本体育大学神奈川県保護者会の会長を拝命いたしました小泉光正と申します。よろしく願いいたします。

本県の学生数は2019年度学生数は1,337人となっており東京都に次いで全国2位の多さであります。全体の学生数は7,158人です。日体大＝スポーツ、との連想は今まで誰しもが思う所でありましたが今や日本体育大学は5学部9学科と単科大学でなく総合大学へ移行しています。スポーツから波及されるニーズをくみ取りながら大学の形を大きくしている所であると思われれます。本県では世田谷と健志台キャンパスを交互に見学会を開催しながら学校教員講演と職員講話を含めながら他の企画を入れ保護者の皆様の見聞を少しでも広く、興味を持たれることを役員皆で考え提案をしている所です。また、同窓会の方々が就職セミナーを開催される際キャンパス見学会を同日に開催し保護者の方々の手間を少なくしたいと思っております。

今後も神奈川県保護者会は保護者の皆様・同窓会・大学と連携を行いながら学生の活動全体を最大限サポートして行きたい。最後に、日本体育大学の発展と本県の保護者の皆様・学生の皆さんの健やかなる発展を願いご挨拶とさせていただきます。

卒業式

平成31年3月15日(金)

平成31年3月15日 金曜日、晴れて清々しい朝を迎えました。今日は、平成30年度日本体育大学の卒業式です。JR東海道線、小田急線そして東急田園都市線と3本の電車を利用して世田谷キャンパスへ行くのも最後になりました。

桜新町駅からキャンパスまでの道程は決して近くはありませんがこの道には四季折々の思い出があります。4年前入学式の際には桜が満開で見事なほどでした。秋から冬にかけては、日体フェスティバルや保護者会行事で通ると青々としていた桜の葉も鮮やかな紅葉から木の枝だけになり、雨や雪の降るときもありました。一年があつという間です。こんなことを思いながらキャンパスの正門を入るとすでに式参列の保護者ブロックができていて、私は二番目のブロックに並びました。スーツや袴・着物姿の卒業生たちが構内で友人たち、家族、職員たちと写真を撮っている光景があちらこちらで見られました。メインアリーナに入り多くのメディア関係者を目にする中、着席してしばらくすると卒業生、教職員の入場、来賓の入場後、厳かに平成最後の卒業式が始まりました。

入学式もそうでしたが、同級生の中にオリンピック出場者やスポーツ界に貢献している人たちもいました。注目の的になりつつも自然でとても誇らしかったです。学事報告、学位記授与、多くのご祝辞をいただいた後、校歌を含む斉唱がありました。私たち保護者席の数列前の男子たちがお互い後ろ手を組んで肩を左右に揺らしながら斉唱している姿が微笑ましかったです。

卒業式後、会場からそれぞれの教室に移動して本当に最後のホームルームがあり、4年間机を共にしたクラスメイトたちと別れを惜しむ子どもたちに胸が熱くなるものがありました。さらに、「今日は、来てくれてありがとう」と照れくさそうに言ったわが子がとても大きく見えました。



そして学生食堂向かいの部屋では、毎年入学式、卒業式に東北からお祝いに駆けつけて餅つきをして新入生、卒業生やその家族にふるまって下さいます。県人会の皆さん、あんこ、きなこ、大根おろし、郷土味つけなどたくさんつくたてのお餅をありがとうございました。大変おいしくいただきました。

平成30年度卒業記念品は、横浜健志台キャンパス正門西側花壇一式を贈呈しました。



体育学部1210名、児童スポーツ教育学部195名、保健医療学部159名総勢1564名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

後に伺ったお話ですが、袴や着物を希望する男女卒業生は、校内(世田谷・健志台)にある注文所へ年内早めに問い合わせ予約をし、着付けは当日早朝より、体育館などを利用するそうです(学内限定予約・費用は男子3万円台～、女子5万円台～)。ご参考までに…

入学式

平成31年4月3日(水)

桜満開の4月3日、世田谷キャンパスで平成最後の入学式が無事、執り行われました。

晴天に恵まれ、慣れないスーツに身を包んだ1897名の新入生が希望を胸に式に臨みました。

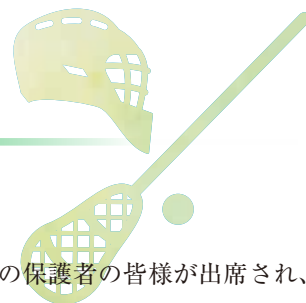
たくさんの方々からお祝いの言葉、中でも平昌冬季オリンピックメダリストの高木美帆先輩から温かく力強いご祝辞をいただき、日体生としての自覚と責任が芽生えた事と思います。

新入生代表の柔道部 阿部 詩さんを筆頭に、新入生全員の活躍を期待申し上げます。



保護者会総会レポート

令和元年6月22日(土)



令和元年6月22日、健志台キャンパスにて神奈川県保護者会総会が開催されました。約100名の保護者の皆様が出席され、特に一年生の保護者は60名を超える参加者となりました。

この日は総会に合わせて、一部:講話・講演会、二部:昼食会、三部:総会、四部:キャンパス見学会の4部構成で行われました。

〈第一部 講話・講演会〉

昨年の講演会でも大好評であった、医学博士で保健医療学部の小川理郎先生をお招きしました。ドラマでも人気の「コード・ブルー」の主人公のモデルとなっているとのこと。

救命救急医療とは?救命士の仕事について、先生の生々しい現場実体験や残されたご家族のケアの大変な苦心など、驚きの連続でした。



学生は1年生から解剖実習、2年生シアトルで研修、3年生は病院実習がある事、先生は学生の様々な場面でメンタル面でも同情し優しく励ましフォローされているとのこと。



救命士には大学を卒業し消防士から救命士(資格取って)になるというパターンがある中、日体大は卒業し(資格取って)すぐ救命士になると、5年のハンデがありとても大変とのこと。自身の子どもは違う学部なので知らない事が多くとても勉強になりました。

先生は勤務に終わりがあっても仕事に終わりは無い、と言われていました。それほど医療の現場は大変だという事、そこにかかる熱意を感じました。そんな先生から直接指導される学生たちがうらやましいです。

〈第二部 昼食会〉



講話・講演会終了後に別のお部屋に移動し、皆さんで「エッサッサ弁当」をいただきました。

かなりお腹が一杯になります!

座席は同じ部活動や学部の方でグループ分けしており、同級生や他学年の保護者の方と、いろいろな情報が交換出来たと思います。

また、保護者会の活動を知っていただく為に、各担当者からの説明がありました。

日体大グッズが当たる抽選会もあり、今回はご夫婦で参加の方も多く、お二人とも当たり!!という方もいて、たいへん盛り上がりました。

〈第三部 総会〉

健志台キャンパスにて令和元年度神奈川県保護者会総会が開催されました。

同窓会会長、保護者会会長からのご挨拶をいただき、平成30年度活動報告、決算報告、監査報告がなされ、令和元年度の活動計画案、予算審議が行われました。

令和元年度神奈川県保護者会会長に、小泉光正氏が承認のもと就任し、新役員とともに新体制が発足されました。



〈 第四部 キャンパス見学会 〉



一番奥にサッカー場があり、こちらも試合中でした。日体大のサッカー部は大所帯で、10チーム以上に分かれて練習しているそうです。

次に、先程通った道から見える飛び込み台のある屋外のプールサイドに行きました。クルクルと宙返りをしてプールに飛び込む迫力のある練習を間近で見ることができました。

そのあとは学生皆が大好きな食堂、わたしたち保護者も利用することができます。



朝から雨が降ったり止んだりのお天気でしたが、行いの良い皆様のお陰で、キャンパス見学会の時間はすっきりと雨が上がり、傘をささずに見学することができました。

5グループに分かれ、爽やかな応援団5名の学生たちに健志台キャンパス内を案内していただきました。

スタートはラグビー場。たくさんのラグーウーマンが試合後のクールダウン中でした。

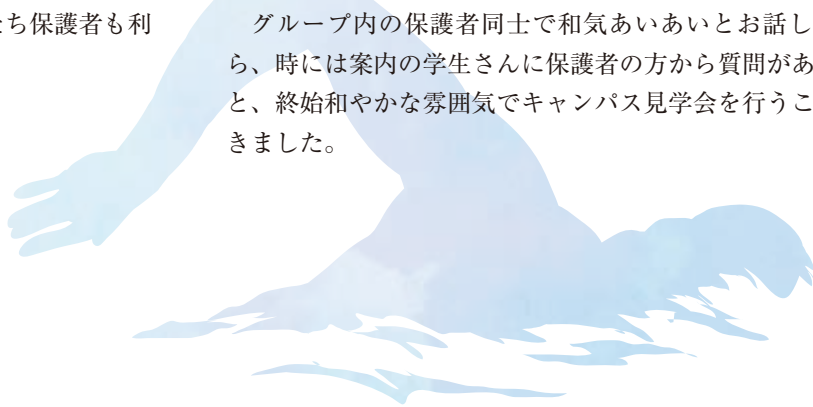
ラグビー場隣、野球場観覧席に行きました。そこには数々のカメラマン、メモをとる男性、ただならぬ緊張感漂う雰囲気。何かと思いきや、日本代表の試合中で、スカウトマンがたくさん来ていました。後にプロ野球で活躍するであろう選手がいろいろな大学から集結していました。



次に体操競技部の体育館。男女部員がいろいろな器具で熱心に練習しているところをわたしたちは上の通路から静かに見学しました。

最後にトレーニングルームに行きました。天候が悪いとトレーニングルームは混み合うそうなので、この日の利用者は多めだということでした。

グループ内の保護者同士で和気あいあいとお話ししながら、時には案内の学生さんに保護者の方から質問があったりと、終始和やかな雰囲気で行うことができました。



関東ブロック代表者会

令和元年9月21日(土)

日本体育大学関東ブロック代表者会は全国7ブロックあり関東ブロックはその1つであります。関東ブロックは1都7県(+山梨)で構成され毎年順番で開催、今年は山梨県の古名屋ホテルで開催されました。

開催目的は近都県の近況報告と意見交換と親睦を図り各支部(神奈川県等)の企画や取り組みを考える機会です。参加者は会長・副会長等の2人と開催県の代議員、大学からはIR室長 荻浩三教授・事務局北川浩さんが出席され、荻教授からは社会変化と日体大の歴史を重ねながらの話、スポーツだけでは語れなくなってきた日体大、大学受験の多様性は個性豊かな学生の入学へ繋がっている等興味深い講演がありました。各競技会等の保護者会の応援参加や保護者会の取り組み、同窓会との関係等の意見交換がされ大変参考になりました。他大学にも保護者会・後援会等の組織がありますが、保護者会の全国組織がある大学、大学教員・職員、他の都県の役員と意見交換活動が出来るのは日本体育大学の特徴ではないかと思っています。



全国支部会長連絡協議会

令和元年11月3日(日)

令和になって初めての全国支部長連絡協議会は、日体フェスティバルと合わせて全国47都道府県(北海道は2保護者会)の保護者会会長47人(1県欠席)と各ブロック代議員・本部保護者会役員が出席しました。大学からは具志堅学長・松井・笠井副学長、各学部長、各室長、事務局局長他、出席されました。

大学より、近況について(競技・日体フェスティバル・第57回体育研究発表実演会・昨今の台風大雨の被害状況・大学への質問回答)の報告がされました。本部保護者からは各都道府県支部の活動報告・奨学金制度・総会懇親会助成金等の話、他各審議事項について承認がありました。支部総会での新潟県の取り組み紹介があり大変参考になりました。

質問回答では部活動の会計に関する再質問、保護者への情報の開示、大学事務局の関わりについて確認、改善を図る意見がありました。前日からの意見交換で今後の神奈川県に於いて参考になる所がありました。



日体フェスティバル

令和元年11月1日(金)~11月3日(日)



秋晴れの中、令和元年11月1日から3日間横浜・健志台キャンパスにて、第53回日体フェスティバル2019が開催されました。

今年のテーマは、『繋』。いよいよ東京オリンピック・パラリンピックを翌年に控え、日体大から、体育・スポーツの魅力を日本や世界へ発信し、未来に『繋がる』日体フェスティバルにしたい! また、日体大とスポーツの歴史、日体大とオリンピック・パラリンピック、更には地域との様々な『繋がり』を感じてもらいたい! という思いが込められていました。

たくさんの模擬店のほか、ミス・ミスターコンテスト、マッスル王座決定戦、日体のど自慢、ミニ実演会、大人気お笑い芸人LIVE、公開練習・試合など、盛り沢山!

子どもの広場では、子どもたちが学生と体力勝負の遊びを満喫していて、テーマにもあった地域との繋がりを感じ、オリパラミュージアムでは、現代に至るまでのオリパラの歴史を感じ、当時の表彰台に立って本物の金メダルを掛けさせて

いただき、オリバラ気分を堪能しました。

保護者会では、今年で5年目となる恒例の『焼き & 煮込みシロコロホルモン』を日体大の大先輩であられる獅々倉先生ご指導のもとで調理販売しました。用意した400食は完売し、今年も大好評に終わりました！

印象に残っているのが、アフガニスタン留学生のドライフルーツ屋さんです。母国では、運動会がなく、売り上げで、母国の中学校で運動会を開催したい!という思いに感動しました!殻つきアーモンド、美味しかったです。

日体大生のノリの良さや誠実さを感じられ、実行委員のきめ細かい運営のお陰で素敵な学園祭に参加出来ました。また来年も楽しみにしています！



KARAKUSA FOOD MAINTENANCE

令和元年9月3日(火)より

今年9月3日より、健志台キャンパスに女子に人気のオシャレなカフェ、KARAKUSA FOOD MAINTENANCEがオープンしました。

店内は明るく開放感があり、穏やかな時間が流れる中で、本格的な「カフェ・ランチ」を味わうことができます。

日体大らしいメニューもあり、「バズーカ岡田先生監修 アスリートのためのサラダプレート (週替わり)」は大人気です。

ランチでお腹を満たしたら、スタッフおすすめのデザートとドリンクでティータイム。

思わず歓声が上がったのが、ストローの形です。口に入れたときに?丸くないぞ…。

日体大にいながら、ちょっと贅沢な「楽しいひととき」を満喫してみたいかがでしょうか。



このストロー、ある形をしています!!!



ショップも併設!!

場 所:
健志台キャンパス
2号館・5F
営業時間:
月~土
9:00 ~ 17:00
ランチ 13:30 まで

第 96 回箱根駅伝応援記

予選会

令和元年 10 月 26 日

令和初の第 96 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が 10 月 26 日に東京都立川市のハーフマラソンコース（陸上自衛隊立川駐屯地スタート～国営平和記念公園ゴールの 21.0975km）にて行われました。

前日の大雨から一転、清々しい秋の空のもと、49 校の大学の選手たちがスタートしました。

午前 9 時の時点で 17.9 度ととても暑い中のレースとなりましたが、日体大は 3 位通過で本戦への出場を決めました。



本選

令和 2 年 1 月 2～3 日

予選を勝ち上がった日体大は、気温 4 度のとてもよく晴れた 2 日 8 時に大手町を勢いよくスタートしていきました。スタート地点では、まだ暗い 6 時から昨年とは比較にならないほど多くの人々が詰めかけており、盛り上がりを見せていました。日比谷通りの日体大応援団区画からは、具志堅学長を始め、応援団、VORTEX（チアリーダー部）、大学関係者の皆様、OB・OG の方々、保護者の方々が道路の両脇から応援を繰り広げました。



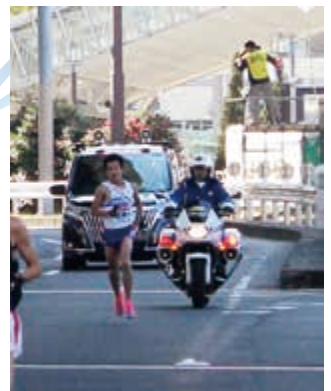
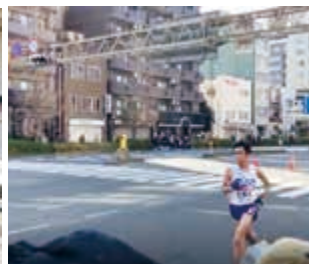
1 区は区間 3 位の好走を見せてくれましたが、往路全体では稀にみる高速レースとなり、日体大は 1 位との差 13 分 19 秒、18 位でフィニッシュ。

復路は法政、神奈川大、日大と順位が激しく入れ替わりながら、激走を繰り広げました。

最終的には総合 17 位の悔しい結果となりました。全体としては予選会から勝ち上がった東京国際、早稲田がシード権を獲得したり、優勝候補の一角だった東海大が 10 位となったりと、高速且つ波乱に満ちた競走会となりました。

日体大の選手たちは応援していたわたしたちよりずっとずっと悔しい思いをしたと思います。でも、その頑張りには称賛に値するものです。日体大は過去に前年 19 位から優勝したことがあります。

私たち保護者会は、来年の活躍を信じて来年も予選会から応援させていただきます！



就職セミナー

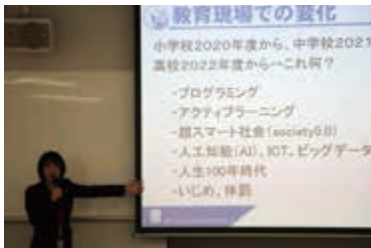
令和元年 12月21日 (土)

神奈川県同窓会による「かながわ日体未来塾『就職セミナー』」が開催され、保護者会も受付などのお手伝いをさせて頂きました。

はじめに、神奈川県同窓会千葉会長より、教職以外でも幅広い職種でリーダー的存在として活躍している日体大OBが多数いること、もっと就職活動に同窓会を活用して進路選択の一つとしてほしいなどのお話がありました。



続いて、学生支援センターの長井主任より、『学校、企業等で求められる人材について』をテーマに講義があり、学生ひとりひとりが「どう生きるか」が大切で「就職」はその手段のひとつであること、また、激動の時代を生き抜く力や挑戦する力、コミュニケーション



力が必要となることなど話されていました。グループディスカッションもあり学生や保護者同士の交流もありました。

次に、教員・公務員・民間企業で活躍されている日体大

OBの方々より、「就職に対する心構え」として各採用試験の詳細や実際に働いていて感じる思い、やりがいなどを直接聞くことができました。また、進路の決まった4年生からの生の声は特に心に響きました。就活の準備は早めに、積極的に行動に移す、視野を広げ疑問を持ち考える癖をつける、そして保護者への要望は「就活中は何も言わずに見守ってほしい」そうです。

学生だけではなく保護者も就職活動の現状を知ることができ、とても貴重な時間でした。



世田谷キャンパス見学会

令和元年 12月21日 (土)

今年も昨年と同様、神奈川県同窓会による「かながわ日体未来塾『就職セミナー』」と神奈川県保護者会による世田谷キャンパス見学会を同日に行いました。

例年より少し遅めの日程で寒い一日となりましたが、多くの保護者（就職セミナーについては現役の学生を含む）の方々をご参加頂き、講演会や世田谷キャンパス内の様々な施設を見学・体験していただくことができました。

また来年も実施したいと考えておりますので、毎年参加されている方も未体験の方も是非ご参加ください。

〈第一部 講演会〉

今年のご講演は本学スポーツ文化学部武道教育学科の南部さおり准教授にお願い致しました。

南部先生は、法学修士と医学博士の学位を持たれ、2016年に横浜市立大学医学部から本学に移られました。専門分野は法医学・刑事法学・スポーツ危機管理学で、児童虐待やスポーツにおける体罰・ハラスメントに関する問題を、医学・法学等の分野横断的なアプローチで研究されておられます。

本講演では、学校の部活指導者による暴力的な攻撃（口撃）が死亡事故に繋がっている近年の傾向、そういったパワハラを行う指導者の心理、パワハラを受けた子どもの心理、などを短い時間の中で実際の事例と共にとっても分かりやすく解説して頂きました。

体罰と児童虐待には、大人からの一方的な攻撃であり反抗

が許されない状況にあること、加害者の気分次第で行われ、家庭や組織の外に知られることが許されない、などの多くの共通点があるそうです。

パワハラを防ぐには、選手や仲間に対して敬意を持つ（リスペクトする）ということが大切であることを強調されておられました。

本学には、「学長直行便」という目安箱が世田谷と健志台キャンパスの学生支援センターに設置されており、問題が発覚したらすぐに「人権侵害防止委員会」が学長直下に設置され事案の抑止・解決に当たる体制となっているそうです。も



ちろん、南部先生はその委員として事案に対処する中核メンバーです。

講演後には、聴講者の皆さんから、日体大に南部先生が来られて本当によかったという意見が寄せられました。

これから本学を卒業して教職などを通じ、部活やクラブなどの指導者となる学生は多いと思います。是非、南部先生の講義を受講したり、著書を熟読してほしいと思います。

〈第二部 ティータイム〉

ハプニングがあり急遽始まったティータイムでしたが、世田谷キャンパスのLAWSONさんの美味しいスイーツを堪能しながら、先輩保護者の方々とお話しさせて頂きました。同じテーブルの方から、4年間の集大成、日体大の良さや今後役立つ情報（進路など）をたくさん伺うことが出来て、学年を越えて談笑しながら、有意義な時間を過ごしました。

抽選会も全員にプレゼントが当たり、喜

んで頂けたものと思います。親同士の貴重な情報交換の場となり、次回も参加させて頂きたいと思います。



〈第三部 キャンパス見学会〉

同日最後の部として、世田谷キャンパス見学会が開催されました。大変寒い日だったせいか、キャンパス見学会の参加者は例年より少なく10名ほどでした。2グループに分かれて応援団部の学生たちに案内をしていただきました。

まず、スポーツ棟。《オリパラロード》と呼ばれている歴代オリンピック選手の写真が飾られた廊下の先には、各運動部専用の練習場がいくつもありました。

また、教育研究棟には2クラス合同授業のできる小教室と最大200人収容可能な大教室があり、更に学生支援センター・トレーニングセンター・健康管理センター等、学生をサポートする設備も充実していました。

また、メインアリーナにもなる記念講堂は入学式等の式典にも利用されますが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の報告会もその場所で行われるそうです。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍される選手たちもきっと訪れる事でしょう。楽しみです。



日体大を支えるエキスパート!!

～日本体育大学クリニック(世田谷)とスポーツキュアセンター(健志台)のご紹介～

スポーツに一生懸命に打ちこむ学生、夢を追いかけている学生、そんな金の卵たちが輝けるのはこういった心強い支えがあるから！ そんな大切な施設である日本体育大学クリニックとスポーツキュアセンターを皆さんはご存じですか？日体生だけでなく地域の人にも頼れる場である二つの素晴らしい施設からのメッセージをご紹介します！

日本体育大学クリニック

①保護者の方々へ

2018年12月に世田谷キャンパスに日本体育大学クリニックが開設されました。整形外科、内科、外科の診療を行っております。診療時間は16:00～19:00です。

②学生にむけて

最新の医療機器を揃えており、医師は全員日本体育協会公認スポーツドクターであり、スポーツの怪我・疾病等に対応し最新の医療を提供します。

③学内にあるクリニックとしての役割

部活動中の怪我に対応が可能、授業を休まずに受診できます。また部活指導者との連携がとれるので練習参加の可否、練習内容の調整ができます。そしてトップアスリートはクリニックの処方に関してはドーピングの心配をしなくてもよいのです。

16:00～19:00	月	火	水	木	金	土日祝日
整形外科	◎		◎	◎	◎	休診
内科・外科		◎	第2週 第4週	◎		

④学生を診療するにあたって

学生の皆さんが安心してキャンパスライフを送れるようにしたいと願っておりますし、選手生命を守る事が大切だと考えております。学生の教育も兼ね、丁寧に怪我・疾病の説明をし対応しております。



スポーツキュアセンター横浜・健志台接骨院

①保護者の方々へ

スポーツキュアセンターは、横浜・健志台キャンパスに保健医療学部の附属臨床実習施設として2015年10月に開院し、整復医療学科の臨床実習を行っています。スタッフは国家資格である柔道整復師や日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格を有する9名が交替制で勤務しています。診療は入学試験などの行事日や一斉休業日以外は全て行っており、日々の治療だけでなく、万が一の怪我の発生にも備えています。施設の特徴は、最新の治療機器や評価機器を備えていることや、一般の接骨院・整骨院にはない競技復帰のためのトレーニング指導を行うスペースがあることです。競技復帰のためのリハビリは、可能な限り早期から行うことが理想です。痛みや二次損傷のリスク管理のために、スポーツ外傷の治療経験豊富なスタッフが対応しております。

曜日	月～金	土日祝
受付時間	9:00～20:30	10:00～16:00

日体生からは、“キュア”の愛称で親しまれており、学生会活動等のスポーツ活動での、骨折や脱臼、靭帯損傷や肉ばなれなど、様々な怪我の治療で利用されています。また、近隣のクリニックや肩や膝の専門医とも連携しており、症状や希望に合わせて適切な医療機関と連携しております。そのため、専門の病院を紹介して欲しい、というニーズにも応えています。

②学生に向けて

スポーツをされている学生さんがほとんどだと思います。競技中転倒して手首を痛めてしまった、体育の授業でボールが当たり打撲してしまった、重たい物を持ち上げて腰を痛めてしまったなど、怪我をしまった際にはどなたでもスポーツキュアセンターに相談しに来てください。まだ利用したこと



がない学生さんは、怪我をしていなくても一度見学に来てください。スタッフが治療内容や費用等についても親切丁寧に説明いたします。

柔道整復師の施術、最新の治療機器や運動療法で皆さんの活動をサポートいたします。

③学内にある治療施設としての役割

全力でスポーツに取り組んでいる日体生の身体的負荷は相対的に大きいといえます。そのため、どうしても避けられないのが怪我です。適切な応急手当が行われると怪我の治りは良くなり、逆に応急手当を受けられないあるいは不適切であれば、怪我の治りが悪くなります。日体生が活動中の時間にあわせて診療を行っていますので、怪我をしてしまったらまずキュアセンターに来てください。また、ご家族や友だち、日体生でなくても利用できますので、怪我の治療やその予防で困っている方がおられましたら全力でサポートいたします。

④学生を診察するにあたって

当院を利用する患者さんは、ほとんどがアスリートです。トップレベルで活躍しているため、怪我をした患部が治癒しただけでは治療したことにならず、競技特性に合わせた動作が元通りかそれ以上にできるようになって競技復帰することを目指しています。そして再発しないように予防のための指導も行っており、監督やコーチなどとも連携しています。接骨院内は明るく、清潔でリラックスできるような雰囲気づくりを心がけています。



部活応援レポート

ボート部

令和元年9月5日～8日にボート全日本大学選手権大会が行われました。

4年生は最後の大きな試合になりましたが、皆全力で取り組んでいる姿には感動しました。

女子舵手付フォアW4+準優勝、男子舵手無しクォドルブル4位と素晴らしい成績を残す事ができました。

4年生の先輩方本当にお疲れ様でした。

そして1年生～3年生の方は新しいチーム体制でスタートする次のレースに向けて更に頑張ってください。



ソングリーディングクラブ LAURELS (ローラルズ)



ソングリーディングは、チアダンスの一種でポンポン等を使いながらダンスを披露し観客の皆さんに楽しんでいただくスポーツです！活動を通して、チーム

ワークと自身の成長、そして日体大や地域の方々へ少しでも貢献できるようなエネルギー溢れるクラブを目指して日々取り組んでいます！

活動内容は年に数回行われる大会での成績アップを目指しながら、東京ディズニーリゾート イクスピアリでの舞台発表、地域のお祭りやマラソン大会などのイベントにも参加しています。また小学校の子どもたちに週一回キッズチアダンスの指導も行っています。

日々の練習から本番まで笑顔を大切に楽しく活動しています！ (^o^)/*

その輝く笑顔で見る人がパワーをもらえるソングリーディング！

創設して3年、時には部員同士の気持ちがあい葛



藤もある中、仲間を信じ努力しながら作りあげたクラブは、絆とともにこれからも笑顔の花を咲かせるでしょう！

練習曜日は 月 水 金 土 (大会出場前後等 変動あり)

☆ 2018年度4月より準公認団体として認められました。

☆ 創立1年目 2018 USA Nationals 3位

☆ 2019 JAPAN OPEN Pom Doubles 大学構成 優勝



救急医療サークル

救急医療サークルは2014年に創設され、創設から6年目を迎えた2019年12月現在の部員数は113人です。

毎週2回の活動では上級生から下級生に向けて救急医療の基礎に対する勉強会を行い、その後は実際の救急現場を想定した実践的な訓練を行っています。

現場経験の豊富な先生方や上級生から救急医療の知識と技術を親身な指導を基に直接受けられる素晴らしい環境下にあります。

サークルに所属する学生は、将来傷病者に配慮した円滑な救急活動が行えるように日々練習されています。

マラソン大会の救護活動や災害ボランティア活動等に積極的に取り組みメディカルラリーにも多数の学生が参加しています。

メディカルラリーとは医学、看護、救急救命士、薬学の学生がチームとなり病院内外の医療の知識と技術を競う大会です。

他職種との学生間交流を持つことによって様々な知識を得る事が出来ます。お互いの職種の相互関係も深める事が出来るという貴重な経験をさせています。

・第16回東日本学生救急救命技術選手権大会

総合第3位（令和元年11月24日）

4年生の先輩方ありがとうございました。

1人でも多くの命を救える様に頑張ってください。



スケート部女子アイスホッケー部門

令和元年11月11日

JJHF 第7回日本学生女子アイスホッケー大会（岩手）5連覇達成!!

第2回大会に初参加し、当時学生女王であった東京女子体育大学と決勝戦で敗退、準優勝。その翌年の第3回岡山大会で日体大が東京女子体育大学にリベンジして初優勝を果たし、今大会では5連覇を達成。新学生女王としての地位を確立しました。

令和元年12月28日

第92回インカレ（女子・釧路）3連覇達成!!

初代学生女王として大会3連覇を達成しました。

2014年4月に日体大スケート部女子アイスホッケー部門を創設して6年目。

『学生女子日本一、そして日体大から世界へ!!』を合言葉（活動テーマ）として取り組みますので、これからも応援を宜しくお願い申し上げます!!

以上、監督のお話です。

選手の力と、監督、コーチ陣の力、トレーナー研究会から派遣スタッフの陸トレ、深夜の氷上練習、大会遠征、トレーニング、コンディショニング、ボディーケアの力の相乗効果で、素晴らしい結果に繋がっています!

ますますの活躍を願います。



第57回体育研究発表実演会2019レポート

令和元年 11月13日 (水)

令和最初の体育研究発表実演会が、11月13日横浜アリーナで開催されました。

1954年（昭和29年）に東京体育館でスタートさせた実演会も今回で57回目を迎えました。日体大付属中高生によるダンスや吹奏楽のプロローグセレモニーから始まり、日々精進し多くの鍛錬を重ねた学生が素晴らしい演技や競技の成果を披露してくれました。

当日を迎えるまでに、どれだけの汗と涙を流したであろうか…どれだけ怒鳴られ、悩み、どれだけ練習したんだろう…どの学生も我が子のような気持ちで見つめてしまいました。そして、演技の裏にある努力を思うと鳥肌が立ち、胸が熱くなりました。

演技を終えた学生たちの顔は皆イキイキとし、達成感に満ち溢れた素敵な涙をながしながら退場していきました。

挑戦し、挫折しながらもやりとげる。 人に見てもらおう！

そんな場面が沢山ある日体大は本当に素晴らしいと感じました。

日体生の身体能力の高さに感動し、スポーツはもちろんのこと、救急医療に関しても、日本を世界を背負って行く未来の姿が見えました！会の終盤には話題の「集団行動」や伝統の「エッサッサ」が披露されました。演技に加えて、技や練習方法の解説もあり、試合や演技の裏にある努力を知ることが出来ました。

またパラリンピック陸上競技短距離走の実演では、義足で走る選手に感銘を受け、走ることの難しさを改めて知りました。

東京五輪出場が期待される有力選手も紹介される場面もあり、ますます東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会がとても楽しみになる会でした。



【令和元年度第57回 体育研究発表会プログラム】

- プロローグセレモニー
- オリンピック賛歌・有力選手紹介
- チアリーダー
- 伝統芸能
- 新体操
- 救急医療
- 体操競技
- レスリング
- 相撲
- 体操
- 朝鮮大学校（民族舞踊）
- 陸上競技
- トランポリン
- 集団行動
- ハンドボール
- ダンス
- エッサッサ
- フィナーレ



保護者会役員活動について

平成31年度は43名の役員で活動しました。構成は会長・副会長3名、会計監査1名、総務7名、書記5名、会計7名、広報20名です。役員会は保護者会年間行事や同窓会協賛お手伝いなど準備の前に1回と、定期的には月1回土曜日の午後の2時間くらいの会議を健志台キャンパスの会議室で行っています。今年度は8回開催しました。

各担当のお仕事は、総務は行事の会場準備、飲食手配、抽選会の景品購入手配など。書記は役員会の議事録作成と配信。会計は保護者会での活動諸経費の管理。広報は会報誌の作成と発行をメインに行事の会場案内・設営のお手伝い、キャンパス見学会の参加者同行などになります。

役員会での活動を通じ、役員間だけでなく教授陣・同窓会の皆様や学生たちとの接点が増え、楽しみながら「日本体育大学」を一層深く知ることができます。一緒に保護者会を盛り上げていきませんか？ いつでもご参加をお待ちしております！

日本体育大学神奈川県保護者会会則

総 則

(事務局)

第1条 本会は日本体育大学神奈川県保護者会と称し、事務局を神奈川県保護者会会長宅に置く。

(目的)

第2条 本会は会員相互の融和、親睦と緊密な連絡を計り、保護者会本部と協力し、学生の健全なる育成を計り、大学と会員のリアルタイム双方向通信（大学からの現況や就職、クラブ活動等、会員からの質問、意見、要望等）のパイプ役となり大学に最大限の協力をし、支援していくことを目的とする。

(活動)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の活動を行う。
(1) 保護者会本部と密接な連絡を取り、各支部との活動情報交換をする。
(2) 学業に関する年間計画及び学生生活一般に関する情報交換。
(3) 進路及び研究修養に関する支援。
(4) その他必要な活動を行う。

(会員)

第4条 本会の会員は、神奈川県在住の保護者又はこれに代わる者（以下保護者という）をもって構成する。

役 員

第5条 本会は、原則として次の役員を置く。

会 長	1名
副会長	3名
書 記	4名以上
総 務	4名以上
広 報	若干名
会 計	4名以上
監 査	2名

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括し、会議の議長になる。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長不在のときは代理を務める。
- (3) 書記は議事を正確に記録し、各種の会議に報告する。
- (4) 総務は会議の会場手配及び懇親会の手配を担当する。
- (5) 広報は大学、保護者会本部、各支部からの情報の収集及び会報・その他の発行を担当する。
- (6) 会計は本会の会計事務をつかさどり、定例総会に会計監査の結果を報告する。
- (7) 監査は随時会計の状態を監査し、定例総会に会計監査の結果を報告する。

(選任)

第6条

- (1) 役員は定例総会において保護者の中から選出する。
- (2) 会長は役員の中から役員会で選出する。（原則として卒業年の保護者）
- (3) 副会長、書記、総務、広報、会計、及び監査は役員会で決定する。
- (4) 同窓生は役員の3分の1以上を占めず、なお、会長にはならない。

(任期)

第7条

- (1) 役員の任期は原則として1年とし、学生の規定在籍期間を越えない範囲で再任を妨げないものとする。
- (2) 役員の任期は、定例総会終了後引き継ぎを完了するまでとし、会の運営が円満に行われるよう協力するものとする。

顧 問

第8条 本会に顧問を置くことができる。

- (1) 顧問は会長が役員会に諮って委嘱する。
- (2) 顧問は原則として会長経験者とする。

総 会

第9条 総会は定例総会、臨時総会とし、会長が召集する。定例総会は年1回開き、役員を選出、予算、決算、活動その他、重要事項を審議する。ただし、臨時総会は会長が必要と認めるとき、又は会員の半数以上が会長に要望したとき、臨時に開催することができる。

(役員会)

第10条 会長が必要のあるときは随時役員会を開き、会務を審議決定する。
役員会は会長、副会長、書記、総務、広報、会計、監査をもって構成する。

第11条 総会及び役員会の議決は出席者の過半数の同意を得るものとする。

会 計

第12条 本会の経費は本部よりの支部活動補助費、寄付金その他の収入を充てる。

第13条 会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。

細 則

第14条 この会則に定めるものの他、定例総会開催時期等必要事項は役員会で決定する。

第15条 諸般の事情により定例総会開催が不可能と役員会が判断した場合は、役員会を定例総会に代わって開催できるものとし、議決事項を有効とする。
この場合、決算報告等は会報誌等に掲載し報告するものとする。

第16条 会則を変更する場合は、役員会の議を経て決定する。

付 則

1. この会則は、平成7年4月1日から施行する。
2. 一部改正したこの会則は、平成9年4月1日から施行する。
3. 一部改正したこの会則は、平成10年4月1日から施行する。
4. 一部改正したこの会則は、平成11年4月1日から施行する。
5. 一部改正したこの会則は、平成14年4月1日から施行する。
6. 一部改正したこの会則は、平成17年4月1日から施行する。
7. 一部改正したこの会則は、平成28年4月1日から施行する。
8. 一部改正したこの会則は、令和2年4月1日から施行する。

予 算

(単位：円)

平成 30 年度決算報告書		
項 目	収 入	支 出
支部活動補助費	1,432,000	
参加費収入等	21,000	
雑収入（銀行利息）	5,258	
前年度繰越金	373,875	
総会・懇親会費		116,295
活動費		276,468
会議費		0
通信費		378,322
印刷・事務費		384,425
雑費		1,944
予備費		0
諸費支払合計		1,157,454
次年度繰越金		674,679
合計	1,832,133	1,832,133

(単位：円)

令和元年度予算		
項 目	収 入	支 出
支部活動補助費	1,469,600	
参加費収入等	7,000	
雑収入	8	
前年度繰越金	674,679	
総会・懇親会費		300,000
活動費		550,000
会議費		20,000
通信費		500,000
印刷・事務費		550,000
雑費		5,000
予備費		226,287
諸費支払合計		2,151,287
次年度繰越金		0
合計	2,151,287	2,151,287

令和元年度 神奈川県保護者会役員



保護者会活動事業報告

行 事

平成31年～令和元年

- 6月22日 令和元年度総会・健志台キャンパス見学会
- 9月21日 関東ブロック代表者会 出席
- 10月26日 第96回東京箱根間往復大学駅伝予選会応援
- 11月2日 日体フェスティバル出店（神奈川県同窓会協賛）
- 11月3日 全国支部会長連絡協議会 出席
- 12月21日 神奈川県同窓会主催「就職セミナー」後援
- 12月21日 世田谷キャンパス見学会

令和2年

- 1月2・3日 第96回東京箱根間往復大学駅伝応援・取材
- 3月25日 令和元年度保護者会会報誌発行
- 4月3日 入学式・保護者会紹介チラシ配布（予定）
- 6月9日 令和二年度総会（予定）

令和元年度保護者会役員会

平成31年～令和元年

- 7月20日 第一回役員会
- 9月14日 第二回役員会
- 10月19日 第三回役員会
- 11月16日 第四回役員会・会報誌編集会議

令和2年

- 1月18日 第五回役員会・会報誌編集会議
- 2月15日 第六回役員会・会報誌編集会議
- 3月14日 第六回役員会
- 4月 第七回役員会（予定）
- 5月 第八回役員会（予定）

編後記

今年も会報誌の編集と発行に沢山のご協力とご支援を頂きました。部活・サークル記事をお寄せ頂いた皆様、各種記事の取材と印刷ギリギリまで編集・校正作業にご尽力頂いた広報委員の皆様、本当に有難うございました。昨年は「神奈川県保護者会の歴史」を掲載し平成を締めくくりました。今年は新たな時代を迎え、日体大の学生たちを新たな気持ちで応援しよう！そんな気持ちで編集しました。これからも神奈川県保護者会は日体大生をサポートしていきます！

日本体育大学保護者会

<http://www.nssu-apg.jp/>

全国の保護者会支部から活動報告が寄せられます。

日体大 <http://www.nittai.ac.jp/> からリンクされています。

